

# 次代の先駆け。進取、革新、挑戦の軌跡。

戦後まもなく創業し、日本はやがて高度経済成長期へ。当時は未だ「循環型社会」「持続可能社会」という言葉が浸透していない時代、いち早く、資源リサイクルや環境ビジネスの重要性を確信。

次代を先取りした積極的な事業展開で急成長し、活躍のフィールドは全国、そして世界へ。

エンビプロ グループは、サーキュラーエコノミーの実現を牽引するリーディング企業として未来に向け『持続可能社会実現の一翼を担う』ミッションの遂行に挑み続けます。

## 1950 - 1999

大いなる飛躍。  
事業拡大への基盤。

1950年 3月 佐野勝喜(当社代表取締役社長 佐野富和の実父)が佐野マルカ商店を静岡県富士宮市にて創業



1978年 7月 資本金2,000万円で株式会社佐野マルカ商店に改組

1989年 7月 経営計画書による経営開始

1992年 8月 貿易事業を開始

1997年 6月 本社工場に大型シュレッダー設備を導入



## 2000 - 2009

全国、そして世界へ。  
次々と広がるグループ展開。

2000年 4月 株式会社富士通ゼネラルとの合併により株式会社富士エコサイクルを設立

2000年 7月 株式会社佐野マルカ商店から株式会社佐野マルカに商号変更

2001年 7月 プラスチックリサイクル事業を開始

2001年 8月 RPF工場(固形燃料製造工場)設置

2003年12月 株式会社ユー・エス・エスとの合併により株式会社アビツを設立

2004年11月 企業理念制定  
自動車リサイクル法ASR(自動車シュレッダーダスト)の再資源化施設として自動車リサイクル法大臣認定を取得

2006年 7月 中古自動車および中古自動車部品輸出事業を目的に株式会社3WMを設立

2007年 7月 株式会社佐野マルカから株式会社エコネコルに商号変更

2008年 2月 株式会社3WMにてJAPAN COAST USED CARS AND SPARE PARTS TRADING(UAE)設立

2008年 6月 資源リサイクル事業を行う株式会社クロダリサイクルの株式を100%取得し子会社とする  
株式会社3WMにて3WM CHILE IMPORT EXPORT LIMITADA(チリ)設立

## 2010 - 2015

エンビプロ・ホールディングス設立。

2010年 5月 純粋持株会社移行のため株式会社エコネコル・ホールディングス(現:株式会社エンビプロ・ホールディングス)を設立

2010年 7月 株式会社エコネコル・ホールディングスから株式会社エンビプロ・ホールディングスに商号を変更  
2011年 4月 資源リサイクル事業を行う有限会社リサイクルサポートサービス(現:株式会社しんえこ)の株式を100%取得し子会社とする

2012年 5月 株式会社3WMにて3WM UGANDA LIMITED(ウガンダ)設立(2021年9月事業再編により撤退)

2013年 9月 東京証券取引所市場第二部に株式を上場

2013年12月 障がい福祉サービスを目的として、株式会社エコミット(現:株式会社アストコ)を設立

2015年 2月 株式会社エコネコルにてホーチミン駐在事務所(ベトナム)開設

2015年12月 廃ゴムリサイクルおよびゴム製品製造販売事業を行う株式会社東洋ゴムチップの株式を100%取得し子会社とする

## 2016 - 2021

電池事業へ果敢に挑戦。

2016年 4月 環境経営コンサルティング事業を展開する事を目的として、株式会社プライベートイノベーションを設立

2016年10月 株式会社エコミットから株式会社アストコに商号変更  
2017年 4月 木質系バイオマス燃料の安定した調達を目的として、MINE BIOMASS SYNERGIES PRIVATED LIMITED(シンガポール)に出資実行

2017年 9月 監査等委員会設置会社に移行  
2018年 1月 リチウムイオン電池リサイクル事業を目的として、株式会社VOLTAを設立

2018年 6月 東京証券取引所市場第一部に株式を上場



業界初の  
東京証券取引所上場  
※2013年 二部  
2018年 一部

2018年 7月 RE100に加盟  
2019年 5月 TCFD提言に賛同  
2019年10月 株式会社エコネコルにて欧州駐在事務所(イギリス)開設  
2020年 4月 株式会社エコネコルの貿易事業を承継し、株式会社NEWSCONを設立

2022 - 2050 30年先の未来図。完全なる脱炭素社会の確立へ。